

令和6年度
青森県中学校教育課程研究集会
【国語科部会】

むつ市立大畑中学校
川村 晃代

1

国語科にかかわる主題

生徒一人一人が、言葉による見方・考え方を働かせ、単元や題材等のまとまりの中で、言語活動を通して「深い学び」へ向かうための学習指導と学習評価の工夫・改善

2

発表の流れ

- 1 授業の概要について
- 2 授業の様子について
- 3 評価の実際について

3

1 授業の概要について

生徒について・・・2年1組 19名（読書好きな生徒が多い）
○根拠を明確にし、意見を積極的に発表できる生徒が多い。
△表現にこだわって自分の考えを書くことは苦手としている。

例えば、好きな短歌のすばらしさを述べる場面で
「すばらしい」という言葉で表現する



どんなところがすばらしいのかを端的に書けるが、そのすばらしさをより具体的に書くことに苦勞していた。

4

1 授業の概要について

生徒に身に付けさせたい力

- ①自分の考えを相手に伝えるとき、どの根拠が適切かを考える力。
- ②自分の考えを相手に伝えるとき、どのような表現が分かりやすいか考え、適切なものを選びながら書く力。

5

1 授業の概要について

単元の目標

- 意見と根拠、具体と抽象など、情報と情報との関係について理解することができる。 [知識及び技能] (2)情報の取扱いに関する事項 ア
- 根拠の適切さを考えて説明を加えたり、表現の効果を考えて書いたりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力等]書くこと(1)ウ
- 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力、人間性等]

6

1 授業の概要について

教材

君は『最後の晚餐』を知っているか(評論)
『最後の晚餐』の新しさ(解説文)
魅力を効果的に伝えよう～鑑賞文を書く～

「魅力を効果的に伝える文章を書くために、二つの文章を読む」という取組により、付けたい力を身に付けさせる。

7

1 授業の概要について

本単元の言語活動

評論と解説文を参考に、

魅力を効果的に伝えられる鑑賞文を書く

8

1 授業の概要について

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	①「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明を加えたり、表現の効果を考えて書いたりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	①粘り強く表現を工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを確かなものにしながら、絵の魅力を表す言葉を検討している。

1 授業の概要について

指導と評価の計画(6時間)

時	主たる活動	評価する内容	評価方法
1	○『最後の晚餐』を見てイメージを膨らませる。 ○『最後の晚餐』に関連する2つの文章を参考にして鑑賞文を書くという学習の見通しをもつ。 ○2つの文章を通読し、内容をつかむ。		
2	○2つの文章の特徴をふまえ、「君は『最後の晚餐』を知っているか」が分かりやすいのかを話し合う。	知識・技能①	観察 ノート
3	○2つの絵を示し、感じたことをGoogleのClassroomに投稿する。 ○Googleドキュメントのワークシートに鑑賞文を書き、要点をまとめる。	[主体的に学習に取り組む態度]①	ワーク シート

1 授業の概要について

指導と評価の計画(6時間)

時	主たる活動	評価する内容	評価方法
4	○ワークシートに鑑賞文を書く。	[思考・判断・表現]①	ワーク シート
5	○書いた鑑賞文をClassroomに投稿する。	[思考・判断・表現]①	Classroom の投稿内容
6	○各自が投稿したワークシートを全員が読み、Classroomのコメント欄に感じたことを書く。 ○コメント欄や他の人の文章を読み、Googleフォームで本単元の振り返りをする。	[主体的に学習に取り組む態度]①	Google フォームでの振り返り 内容

2 授業の様子について

時	主たる活動	評価する内容	評価方法
1	○『最後の晚餐』を見てイメージを膨らませる。 ○『最後の晚餐』に関連する2つの文章を参考にして鑑賞文を書くという学習の見通しをもつ。 ○2つの文章を通読し、内容をつかむ。		



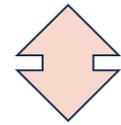
『君は「最後の晚餐」を知っているか』（評論）
絵に使用されている「解剖学」「遠近法」「明暗法」「修復後に浮かんだ全体像」から『最後の晚餐』の魅力述べている。

『最後の晚餐』の新しさ（解説）
4つの『最後の晚餐』の絵を比較し、レオナルド・ダ・ヴィンチがいかに、画期的な『最後の晚餐』を描いたのか、ということ解説している。

2 授業の様子について

時	主たる活動	評価する内容	評価方法
2	○2つの文章の特徴をふまえ、「君は『最後の晚餐』を知っているか」が分かりやすいと感じたか話し合う。	知識・技能①	観察 ノート

はたしてレオナルド・ダ・ヴィンチの『最後の晚餐』はかっこいいのか？



何を根拠にして「かっこいい」と称賛しているのか

13

2 授業の様子

時	主たる活動	評価する内容	評価方法
3	○2つの絵を示し、感じたことをGoogleのClassroomに投稿する。 ○Googleドキュメントのワークシートに鑑賞文を書き、要点をまとめる。	【主体的に学習に取り組む態度】①	ワークシート



14

2 授業の様子について



- 生徒氏名 2023/12/07
背景が真っ黒
- 生徒氏名 2023/12/07
光と影がすごい
- 生徒氏名 2023/12/07
真珠が強調されていない
- 生徒氏名 2023/12/07
目がリアル（虹彩が美しい）
- 生徒氏名 2023/12/07
立体感すごい
- 生徒氏名 2023/12/07
何かを見つめている
- 生徒氏名 2023/12/07
カヌー？
- 生徒氏名 2023/12/07
波が怪物みたい。
- 生徒氏名 2023/12/07
なぜ一瞬に近い波の動きを描いたのか
- 生徒氏名 2023/12/07
なぜ、こんな荒波を描いたのか？
- 生徒氏名 2023/12/07
波の色が薄いとこや暗いとこがあって遠くから見るとよりリアル
- 生徒氏名 2023/12/07
悲劇を描いて何の意味があるのか？
- 氏名生徒 2023/12/07
波しぶきが大きい波の近くに多くある



15

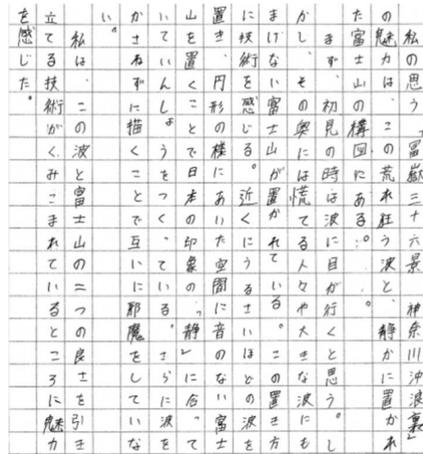
2 授業の様子について

生徒氏名 2023/12/07 <u>背景が真っ黒</u>	あなたが感じた絵の魅力 独特な雰囲気	あなたが感じた絵の魅力 富家三十六景 神奈川沖浪裏 自然の恐ろしさや人の生きる力を表現しているところ
生徒氏名 2023/12/07 光と影がすごい	絵のどこにそのような魅力を感じましたか 正面から描いていない 振り返る状態	絵のどこからそのような魅力を感じましたか 自然の恐ろしさ：波に半分のみれている舟 生きる力：高波に飲まれまいと必死な人々の姿
生徒氏名 2023/12/07 <u>真珠が強調されていない</u>	そのことをどう表現しますか？ 誰かに呼び止められているかのような感じ そこから何かを見つめているところから独特さを表現している	そのことをどう表現しますか？ 高波に飲まれまい・・・波に揺られて落ちるか落ちないかで舟の端にしがみついている人たちの 生きる力・・・自然に負けないで耐えようとしている
生徒氏名 2023/12/07 立体感すごい		
生徒氏名 2023/12/07 何かを見つめている		

16

2 授業の様子について

時	主たる活動	評価する内容	評価方法
4	○ワークシートに鑑賞文を書く。	[思考・判断・表現]①	ワークシート



2 授業の様子について

時	主たる活動	評価する内容	評価方法
5	○書いた鑑賞文をClassroomに投稿する。	[思考・判断・表現]①	Classroomの投稿内容 Googleフォームでの振り返り内容
6	○各自が投稿したワークシートを全員が読み、Classroomのコメント欄に感じたことを書く。 ○コメント欄や他の人の文章を読み、Googleフォームで本単元の振り返りをする。	[主体的に学習に取り組む態度]①	



- 生徒氏名 2023/12/13
波に耐えている人々に目を向け、生きる力と解釈しているのがいいと思った
- 生徒氏名 2023/12/13
絵を見る視点がいいと思った
- 生徒氏名 2023/12/13
自然の恐ろしさがわかるような説明でわかりやすいなどおもしろいと思いました
- 生徒氏名 2023/12/13
語彙力が天才的だと思いました
- 生徒氏名 2023/12/13
人間の生きたい欲と自然の恐ろしさを勝負させるように感じた。

3 評価の実際について

知識・技能

①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2) ア)



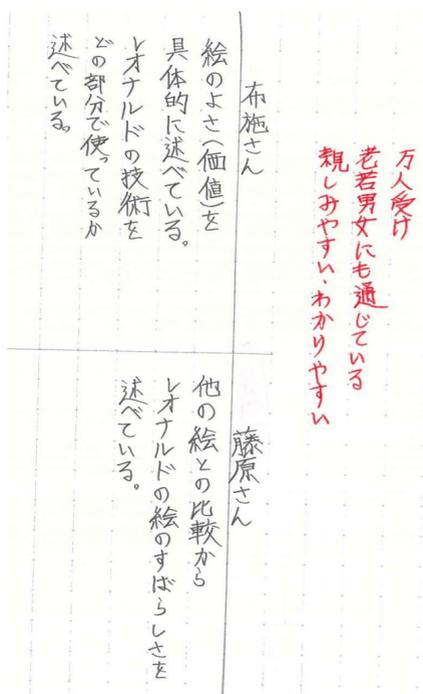
時	主たる活動	評価する内容	評価方法
2	○2つの文章の特徴をふまえ、「君は『最後の晩餐』を知っているか」がわかりやすいと感じたか話し合う。	知識・技能①	観察ノート



十分満足できる状況 (A)	おおむね満足できる状況 (B)	努力を要する状況 (C)
「解剖学」「遠近法」「明暗法」「修復後に浮かんだ全体像」を根拠に「かっこいい」と絵を称賛していることをおさえ、違う言葉の称賛の仕方を考え、発表したりノートにメモしたりしている。	「解剖学」「遠近法」「明暗法」「修復後に浮かんだ全体像」を根拠に「かっこいい」と絵を称賛していると発表したりノートにメモしたりしている。	「かっこいい」と称賛している根拠が「解剖学」「遠近法」「明暗法」だととらえる発表やメモがない。

3 評価の実際について

これに関する発言をしているから評価。



この文章は「解剖学」「遠近法」「明暗法」「修復後に浮かんだ全体像」を説明してから絵を見たときの筆者の感動を表しているかを捉えている。

かっこいい
見栄えがしたり、態度・行動がさわやかだったりして心ひかれる、という気持ちで使う語。

絵を見たときの感動を表現しているから「かっこいい」は相応しいと思わない。絵には「かっこいい」という言葉よりも「美しい」のほうがよいのではないか。

3 評価の実際について

主体的に学習に取り組む態度

①粘り強く表現を工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを確かなものにしながら、根拠に基づいて絵の魅力を表す言葉を検討している。

時	主たる活動	評価する内容	評価方法
3	○ワークシートに鑑賞文を書く要点をまとめる。	[主体的に学習に取り組む態度]①	ワークシート

十分満足できる状況 (A)	おおむね満足できる状況 (B)	努力を要する状況 (C)
教科書の言葉を参考にしながら、根拠に基づき、その絵の魅力を表す言葉を自分で考えて表現しようとしている。	根拠に基づいて魅力を表す言葉を教科書を参考にしながら粘り強く工夫しようとしている。	教科書の魅力を表す言葉をそのまま引用している。

3 評価の実際について

あなたが感じ取った絵の魅力

独特な雰囲気

絵のどこにそのような魅力を感じましたか

正面から描いていない
振り返る状態

そのことをどう表現しますか?

誰かに呼び止められているかのような感じ
そこから何かを見つめているところから独特さを表現している

あなたが感じ取った絵の魅力

富嶽三十六景 神奈川沖浪裏

自然の恐ろしさと人の生きる力を表現しているところ

絵のどこからそのような魅力を感じましたか

自然の恐ろしさ：波に半分のまれている舟
生きる力：高波に飲まれないように必死な人々の姿

そのことをどう表現しますか?

高波に飲まれない・・・波に揺られて落ちるか落ちないかで舟の端にしがみついている人たちの生きる力・・・自然に負けないで耐えようとしている

おおむね満足できる状況 (B)

努力を要する状況 (C)

3 評価の実際について

あなたが感じ取った絵の魅力

富士山と波の置き方

絵のどこにそのような魅力を感じましたか

最初は波
奥に慌てる人々
そのさらに奥にどっしり構えている富士山 (静かな印象)

そのことをどう表現しますか?

荒々しい波と静の富士山の二つを引き立てる構図
波間に重ならないように描く富士
互いを邪魔しない構図
二つの良さを引き立てる構図

構図が素晴らしい

満足できる状況 (A)

3 評価の実際について

思考・判断・表現

①「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明を加えたり、表現の効果を考えて書いたりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)

時	主たる活動	評価する内容	評価方法
4	○ワークシートに鑑賞文を書く。	[思考・判断・表現]①	ワークシート

十分満足できる状況 (A)	おおむね満足できる状況 (B)	努力を要する状況 (C)
選んだ絵の魅力について、絵の中の事実を根拠にするとともに、絵の魅力を伝える効果的な言葉を考えて書いている。	選んだ絵の魅力について、絵の中の事実を根拠にして述べている。	選んだ絵の魅力とすることと絵に関する説明が繋がっていない。

3 評価の実際について

見	む	少	る	か	と	と	
て	ま	女	。	で	鮮	と	「
い	る	の	作	も	や	少	真
る	で	魅	者	か	な	女	珠
人	の	力	の	な	あ	と	の
心	が	を	フ	女	青	目	耳
を	引	エ	の	い	る	が	飾
奪	き	ル	澄	タ	合	い	リ
う	だ	×	ん	バ	い		の
魅	ら	し	た	ン	引	少	女
力	う	見	は	や	き	込	」
的	い	て	い	、	ま	ま	の
な	る	鮮	瞳	艶	あ	る	魅
一	が	や	の	の	る	感	力
枚	の	人	目	あ	る	覚	は
で	よ	を	も	唇	に	な	不
あ	う	引	色	奪	る	思	議
る	に	き	彩	あ	な	る	
		込	で	れ	な		

「絵を見ると引き込まれる
感覚」
「見ている人の心を奪う魅
力的な1枚」

↓
根拠
青いターバン、艶のある唇、
美しい瞳・・・鮮やかな色彩

おおむね満足できる状況(B)

3 評価の実際について

を	立	い	か	い	山	置	に	ま	か	た	の
感	て	私	い	て	を	置	に	ま	か	た	の
じ	る	は	私	い	を	置	に	ま	か	た	の
た	扶	術	の	描	く	円	を	感	の	初	の
	術	の	描	う	と	形	を	じ	山	見	の
	く	波	こ	と	日	の	に	が	は	時	に
	み	と	こ	と	走	あ	近	置	は	あ	る
	こ	富	と	で	の	り	く	か	て	る	に
	ま	れ	山	互	、	印	た	に	れ	る	に
	て	の	い	に	い	象	の	う	る	々	が
	い	二	に	い	る	の	音	い	。	大	と
	る	つ	邪	魔	を	ま	の	ほ	こ	ま	と
	と	の	を	し	ら	に	な	の	置	な	思
	こ	良	を	し	ら	に	な	の	置	な	思
	ろ	を	し	ら	に	な	な	の	置	な	思
	に	を	し	ら	に	な	な	の	置	な	思
	魅	引	い	波	を	置	に	ま	か	た	の
	力	を	な	を	て	置	に	ま	か	た	の

荒れ狂う波と富士山
の構図に着目。
絵を見る人の視点の
動き、波と富士山の構
図を対比する構造につ
いて述べ、それを「二つ
の良さを引き立てる技
術が組み込まれている
ところに魅力」と表現。

十分満足できる状況(A)

3 評価の実際について

る	図	の	印	れ	こ	深	
絵	今	の	波	を	に	の	一
で	の	存	を	耐	に	追	層
す	波	の	し	的	耐	か	獄
	が	感	七	で	ん	を	三
	難	ん	十	う	を	難	十
	つ	か	大	山	と	う	六
	て	と	王	も	し	よ	景
	く	目	い	魅	て	う	の
	る	見	の	力	い	い	神
	上	事	の	的	る	見	奈
	り	で	富	で	ん	え	川
	に	す	山	す	か	て	沖
	見	え	山	モ	リ	追	浪
	え	る	モ	同	ア	か	の
	追	か	同	い	カ	か	表
	の	も	う	い	か	あ	現
	あ	構	い	い	と	る	し
					と	し	た
					と	は	

魅力的と思われるもの
を羅列している状況だっ
たので、もう一度構成と
「リアル」と感じる絵の
要素を確認した。
生徒は「小さくても耐え
る人々の表情が見えるこ
ろがリアル」だと答え
た。

努力を要する状況(C)

実践のまとめ

《成果》

- Googleのクラスルームなどの活用で、全体での共有をスムーズに行うことができた。
- 1つの言葉を全体で考える発問を投げかけ、それについて全員が吟味したという活動を行ったからこそ、自分で文章を作るときに、一つ一つの言葉を吟味しようとする姿勢、つまり言葉にこだわって深く考えようとする姿勢が生徒たちに身に付いた。

実践のまとめ

《課題》

- ・ タブレット端末活用における「考える過程」をどのように読み取っていくか。
- ・ 例を示すタイミングや例を使った指導をどう行っていくか。

29

ご清聴ありがとうございました。

30

令和6年度

青森県中学校教育課程研究集会

【国語科部会 指導助言】

下北教育事務所

指導主事

竹林 千亜紀

31

指導・助言の流れ

- 1 授業実践及び学習評価のポイント
- 2 実践のよい点、参考とすべき点
- 3 「意見と根拠の関係について理解すること」に関する指導上の留意点

国語科にかかわる主題

生徒一人一人が、言葉による見方・考え方を働かせ、単元や題材等のまとまりの中で、言語活動を通して「深い学び」へ向かうための学習指導と学習評価の工夫・改善

32

1 授業実践及び学習評価のポイント

中学校学習指導要領（平成29年告示）

第1 目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

※赤字・下線は、助言者による。以下のスライドも同様。

33

1 授業実践及び学習評価のポイント

資質・能力を効果的に育成する言語活動を創意工夫して指導

その言語活動で、どのように資質・能力を育成することができたのかを評価

評価の結果を踏まえ、教師の指導や生徒の学習を改善し、資質・能力を確実に育成

指導と評価の一体化

【授業実践のポイント】

- | | |
|--------------|-------------------|
| ①言語活動の創意工夫 | ④授業改善を見越した指導計画の作成 |
| ②適切な学習評価 | ⑤授業での実際の指導 |
| ③評価を踏まえた授業改善 | |

34

1 授業実践及び学習評価のポイント

【単元の目標を作成する際の留意点】

- ①学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説等を踏まえて作成する。
- ②生徒の実態、前単元までの学習状況等を踏まえて作成する。

（「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 P37）

【学習評価のポイント 国語科の場合】

- ①教師が指導事項の内容を理解し、「おおむね満足できる」状況（B）と判断する生徒の記述例、発話例を具体的に想定する。
- ②目標に準拠した評価の考え方を適切に理解する。
- ③実際の生徒の発話や記述を、目標に準拠した評価の考え方に沿って、「おおむね満足できる」状況（B）の条件に照らし合わせて評価する。

35

2 実践のよい点、参考にすべき点

（1）単元の目標の設定について

生徒について・・・2年1組 19名（読書好きな生徒が多い）

○根拠を明確にし、意見を積極的に発表できる生徒が多い。

△表現にこだわって自分の考えを書くことは苦手としている。

生徒に身に付けさせたい力

- ①自分の考えを相手に伝えるとき、どの根拠が適切かを考えられる力。
- ②自分の考えを相手に伝えるとき、どのような表現が分かりやすいか考えられ、適切なものを選びながら書く力。

○生徒の実態、前単元までの学習状況等を踏まえた目標の作成

・年間指導計画を基に、単元で取り上げる指導事項を確認しましょう。

36

2 実践のよい点、参考にすべき点

(1) 単元の目標の設定について

学習指導要領改訂の趣旨に関わる指導事項として**新設**。「意見と根拠」は、改訂の趣旨と大きな関わりがある。

単元の目標

○意見と根拠、具体と抽象など、情報と情報との関係について理解することができる。
[知識及び技能] (2) 情報の取扱いに関する事項 ア

○根拠の適切さを考えて説明を加えたり、表現の効果を考えて書いたりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。

[思考力、判断力、表現力等] 書くこと(1)ウ

○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

[学びに向かう力、人間性等]

2 実践のよい点、参考にすべき点

(2) 言語活動の工夫について

教材

君は『最後の晚餐』を知っているか(評論) 『最後の晚餐』の新しさ(解説文)
 魅力を効果的に伝えよう～鑑賞文を書く～

「魅力を効果的に伝える文章を書くために、二つの文章を読む」という取組により、付けたい力を身に付けさせる。

本単元の言語活動

評論と解説文を参考に、魅力を効果的に伝えられる鑑賞文を書く

○**単元の目標を実現するために適した言語活動の工夫**

2 実践のよい点、参考にすべき点

(3) 単元の評価規準の設定と、指導と評価の計画の決定について

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア)	①「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明を加えたり、表現の効果を考えて書いたりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	①粘り強く表現を工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを確かなものにしながら、絵の魅力を表す言葉を検討している。	
時	主たる活動	評価する内容	評価方法
4	○ワークシートに鑑賞文を書く。	[思考・判断・表現]①	ワークシート
5	○書いた鑑賞文をClassroomに投稿する。 ○各自が投稿したワークシートを全員が読み、Classroomのコメント欄に感じたことを書く。	[思考・判断・表現]①	Classroomの投稿内容
6	○コメント欄や他の人の文章を読み、Googleフォーム	[主体的に学習に取り組む態度]①	Googleフォームでの振り返り内容

○**具体的な学習活動と、評価場面・評価方法の明確な設定**

2 実践のよい点、参考にすべき点

(4) 評価の実際と手立ての想定について

知識・技能			
①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)			
時	主たる活動	評価する内容	評価方法
2	○2つの文章の特徴をふまえ、「君は『最後の晚餐』を知っているか」がわかりやすいと感じたか話し合う。	知識・技能①	観察ノート
十分満足できる状況 (A)		おむね満足できる状況 (B)	
「解剖学」「遠近法」「明暗法」「修復後に浮かんだ全体像」を根拠に「かっこいい」と絵を称賛していることをおさえ、違う言葉の称賛の仕方を考え、発表したりノートにメモしたりする。		「かっこいい」と称賛している根拠が「解剖学」「遠近法」「明暗法」だととらえる発表やメモがない。	

○設定した評価規準について、実際の学習活動を踏まえて、「(B)と判断する状況」と、「(C)と判断する状況」の例が具体的に想定されている。

3 「意見と根拠の関係について理解すること」に関する指導上の留意点

(1) 系統性を踏まえた指導

学年	〔知識及び技能〕 (2) アの指導事項
5・6 小学校 第1学年	原因と結果 など情報と情報との関係について理解すること。
第1 中学校 第1学年	原因と結果、意見と根拠 など情報と情報との関係について理解すること。
第2 学年	意見と根拠、具体と抽象 など情報と情報との関係について理解すること。
第3 学年	具体と抽象 など情報と情報との関係について 理解を深める こと。

小学校第5学年及び第6学年のAを受けて、原因と結果の関係に加え、意見と根拠の関係について理解することを示している。

第1学年のAを受けて、意見と根拠の関係に加え、具体と抽象の関係について理解することを示している。

第1学年の学習を踏まえて、意見と根拠の関係を理解するとともに、**判断や考えを示す意見を裏付けるための適切な根拠の在り方を理解**することが求められる。

3 「意見と根拠の関係について理解すること」に関する指導上の留意点

(2) 〔知識及び技能〕を活用して課題を解決する言語活動の創意工夫 関連付けた指導事項の例(第2学年)

A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと
イ 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫すること。	ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	ア 文章全体と部部との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。
根拠の適切さを注意するとは、 話の中で用いようとしている根拠が、自分の立場や考えを支えるものとしてふさわしいかどうかを考えることであり、その整合性を吟味 することが重要である。	根拠の適切さを考えるとは、 書こうとする根拠が自分の考えを支えるものであるかどうかを検討 することであり、その根拠が確かな事実や事柄に基づいたものであること、自分の考えが事実や事柄に対する適当な解釈から導き出されていることなどが、適切さを考える観点となる。	主張と例示との関係を捉えることについては、主として説明的な文章において、 文章中に示されている具体例と、書き手の主張との関係を考え ながら内容を把握することを求めている。

「知識及び技能」は、「思考力、判断力、表現力等」に示す事項の指導を通して指導することが基本。育成を目指す**資質・能力を発揮するの**にふさわしい言語活動であるか。

3 「意見と根拠の関係について理解すること」に関する指導上の留意点

(3) 資質・能力の育成に生かす評価場面・評価方法の工夫

- ①〔思考力、判断力、表現力等〕と関連付けた学習を通して理解したり習得したりした〔知識及び技能〕を評価する場面
- ②学習改善に生かすための評価場面と指導改善に生かすための評価場面
- ③「知識・技能」の評価に適した評価方法
- ④「意見と根拠の関係について理解している」状況の具体的な想定

①**単元の冒頭での評価**は、生徒のレディネスを把握し、その後の指導に生かすには有効だが、その単元を通して、意見と根拠に関してその理解が深まったかどうかを見る**総括的評価としては不適切**である。

②**評価場面設定の意図**を確認する。
 ・学習改善に生かす…**速やかに**生徒にフィードバックし、**学習改善に取り組む場面の設定**が必要。
 ・指導改善に生かす…**どの場面の指導に生かす**のか。次の単元の指導に生かすなら、**年間の計画**になっているか。

③**評価方法が目的に適しているか。**
 (例) 意見と根拠の関係を1回スピーチを聞いただけで、適切に評価できるか。動画を撮影した場合、それを評価する時間を考えて設定しているか。

④**指導者が想定している「(B)と判断する状況」**が、「意見と根拠の関係」でなく、「原因と結果」や「具体と抽象」のような関係になっていないか。

国語科にかかわる主題

生徒一人一人が、言葉による見方・考え方を働かせ、単元や題材等のまとまりの中で、言語活動を通して「深い学び」へ向かうための学習指導と学習評価の工夫・改善



効果的な言語活動を通じた学習活動や、目標に準拠した適切な評価の実施の継続により、指導と評価の一体化が可能になり、生徒が「深い学び」に向かうようになる。

教師自身が生徒と**共に言葉と真摯に向き合う大切さと尊さ**を感じられる授業実践であった。



御清聴ありがとうございました。